

学校番号	1002
------	------

令和5年度 商業科

教科	商業	科目	経済活動と法	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	経済活動と法 新訂版 (東京法令出版)						
副教材等	経済活動と法 新訂版 ワークブック (東京法令出版) 商業法規便覧2021 (とうほう出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

法律が社会生活にどのように関わっているか、その法の目的や役割についてなどを、より具体例を多く取り入れ、この科目で学習していきます。
日常的で身近なことが学習できる授業です。よって、多くの法への知識を習得することを目的とします。日々の経済状況や社会問題に関心を持ち、積極的・意欲的な態度で授業をうけてほしいと思います。

2 学習の到達目標

ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割を理解するとともに、経済事象を法的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育成する。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	経済生活や私たちの市民生活が安定的に営まれることは、法の存在による「法化社会」であるため、法の知識、法的思考が生活上必要なことであるということに関心を持ち、意欲的に学習しようとしているか。	ある事象の解釈について、また条文についてなどの生成過程や立法の趣旨を論理的に思考しとらえることができているか。	新聞記事などを通してそれらのことが「法化社会」でどのように扱われ、条文と関連できるか、具体的にとれることができるか。	経済活動や市民生活のあるところ法あり、と実感し、理解することが知識の裏付けをもってなしうるか。
評 価 方 法	①定期考査の成績 ②出席・提出物の状況 (問題集等) ③授業態度 ④その他	①定期考査の成績 ②出席・提出物の状況 (問題集等) ③授業態度 ④その他	①定期考査の成績 ②出席・提出物の状況 (問題集等) ③授業態度 ④その他	①定期考査の成績 ②出席・提出物の状況 (問題集等) ③授業態度 ④その他
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	経済社会と法	経済活動や市民生活における法の存在を具体的に学ぶ。	○	○	○	○	法の存在、法化社会について認識し、法の分類・効力・適用と解釈など法を学ぶための基本的なことがらを理解しているか。	①定期考査 ②出席・提出物の状況(問題集等) ③授業態度 ④小テスト ⑤その他
	権利義務とその主体	私たちの生活の成り立ちが権利と義務に分けられ、その両面から考えられることを理解する。	○	○	○	○	権利・義務の意義、関係そして主体について学習し理解しているか。また、公共の福祉や権利濫用などの理解ができているか。	
	物と財産権	物の分類の法律上の意味を理解し、物権の対象としての物の概念と範囲を理解する。	○	○	○	○	経済生活は物をめぐる生活でもあるため、物権の対象としての物の概念と範囲や、関連して相隣関係も理解ができているか。	
	知的財産権(商品開発に関する内容)	知的財産権の全体像を理解する。 企業がモノとしての商品開発をどのようにして考え、消費者に提案しているのかを考える	○	○	○	○	著作権や特許権、実用新案権、意匠権、商標権、商号権などの意義や内容、存続期間についての概略が整理できているか	
2学期	商品開発に関する内容	企業がモノとしての商品開発をどのようにして考え、消費者に提案しているのかを考える 民法と商法、商行為について	○	○	○	○	商人はどのような者をいうか、商人概要が理解できているか。また、その種類が明確に分かっているか。	①定期考査 ②出席・提出物の状況(問題集等) ③授業態度 ④小テスト ⑤その他
	営業活動の自由	営業自由の原則・営業自由の制限を学ぶ。	○	○	○	○	消費者利益や公平さの追求の為、営業について開始のとき、制限が理解できているか。	
	手形・小切手と法	法律上の意義と性質を理解する。	○	○	○	○	手形・小切手の法律上の意義と性質を理解しているか。	
	金融取引	金融商品取引の課題を理解する。	○	○	○	○	伝統的な金融取引と今日的な金融商品や決済方法などに伴う課題とそれに対応する立法について理解できているか。	

